

LED人感ライト

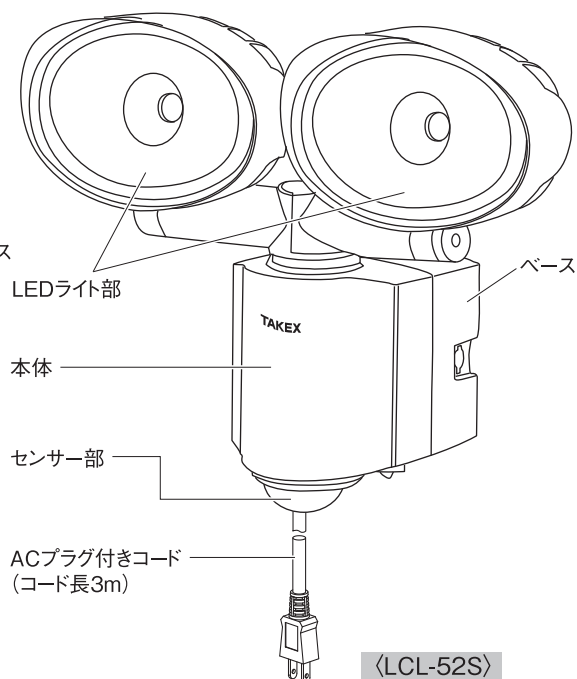
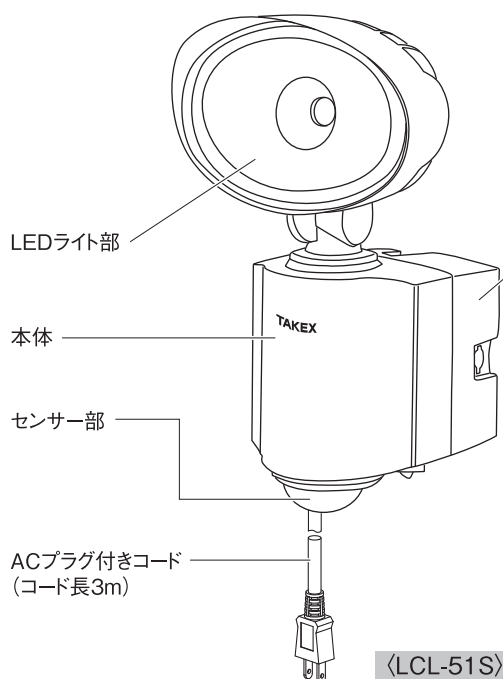
LCL-51S (1灯式) LCL-52S (2灯式)

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

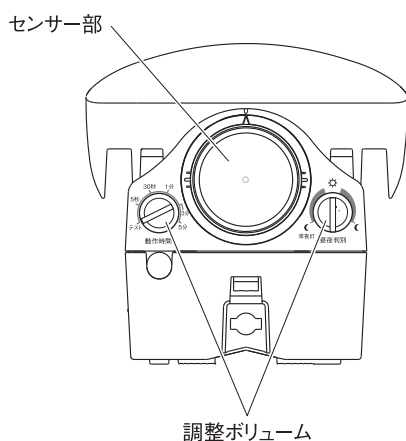
1 商品説明

LED人感ライトLCL-51S、LCL-52Sは人体から放出される熱線を検知し、ライトを点灯させる自動照明器です。
また、20%の明るさで常時点灯させることもできますので、夜間の常夜灯としても使用でき、様々な用途にご利用いただけます。

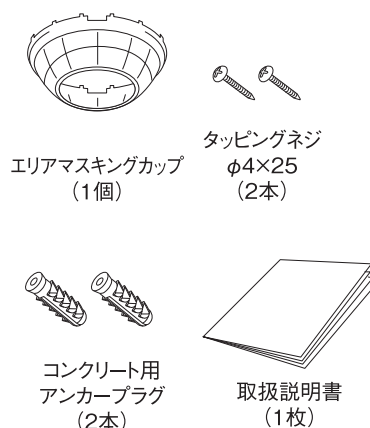
2 各部の名称



調整ボリューム (本体下面)



付属品



3 ご使用上の注意 必ずお守りください

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

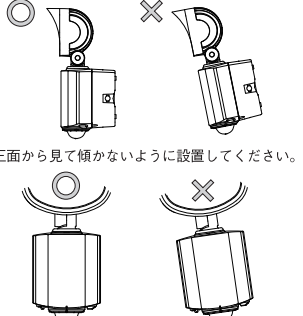
警告 「死亡や重傷を負う場合がある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する場合がある内容」あるいは「誤動作や失報により運用されるシステムでの通報が遅れる場合がある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

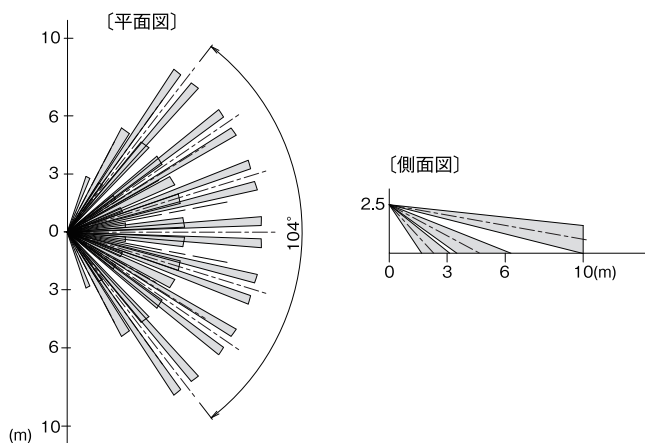
 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容や、知っておいていただきたい内容です。
--	--

 警告	
 本体やライトの近くに布や紙などの可燃物を置いたり、覆わないでください。火災・故障の原因となります。	 表示された電源電圧（AC100V）以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	 濡れた手で電線部に触れないでください。感電の原因となります。
 次のような異常・故障が発生した場合には直ちに電源供給を中止して、販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。 ・煙が出たり、異常な臭いや音が出る。 ・内部に水などの液体や異物が入っている。 ・変形や破損した部分がある。	 本機は壁面の補強材が通っている丈夫な場所に取り付けてください。木材以外の石膏ボードやコンクリートなどに取り付ける場合は、壁の材質に見合ったアンカーと取付ネジで確実に取り付けてください。取り付けが不安定な場合、機器が落下してけがや器物を破損する原因となります。
 本機の重量に耐えられないような場所や取付方法で設置しないでください。機器が落下してけがや器物を破損する原因となります。	 電源線は取扱説明書にしたがい、正しく配線してください。誤った配線を行うと、火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
 衝撃を加えないでください。強い衝撃が加わると、性能が劣化したり、破損する場合があります。	 検知エリアが敷地外に出ないように取り付けて、調整をしてください。（思わぬ物を検知する場合があります）
 強い電界や磁界が発生する機器の近くでは正常に動作しない場合があります。また、本機から発生する磁界や磁気により近くの機器が正常に動作しない場合があります。必ずご確認のうえ運用してください。	 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところには設置しないでください。電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電や誤動作の原因、また、油による筐体の劣化、基板腐食の原因となります。
 必ずシステム全体で十分な動作確認を行ったうえ運用してください。	 電源線の接続など電気工事が必要な場合は、必ず電気工事士の資格がある専門業者に依頼してください。火災・感電の原因となります。
 屋外での本格的な防犯警備システムへのご使用はおやめください。	 設置工事は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。また、必ず付属品および指定の部品を使用してください。火災・感電・機器が落下してけがや器物を破損する原因となります。
 次のような場所に設置されると誤報や失報の原因となるので避けて設置してください。	 本機は防雨構造です。防水構造ではありませんのでホースなどで直接水をかけないでください。また、常時水のかかる場所や浴室などの湿気の多い環境で使用しないでください。故障の原因となります。
・強い光（日光、スポットライトなど）が直接または反射して当たる場所 ・急激な温度変化のある場所（冷暖房器具の吹き出し口など） ・検知エリア内に動くものがある場所（植物、洗濯物など） ・強い振動や電氣的雑音が発生しやすい場所 ・犬や猫などのペットや自動掃除ロボットが通る場所 ・検知エリア内に遮蔽物体（ガラス、透明樹脂などを含む）がある場所（影の部分は非検知場所となります） ・人が容易に触れられるような場所	 正面から見て傾かないように設置してください。
 検知エリア図を参考に設置場所を選定し、実際に動作確認をして適切なエリア調整を行ってください。	 電源線の架空配線は行わないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 人感センサーは遠赤外線エネルギーの変化をキャッチするように設計されています。人体が検知エリアを横切って移動した場合はエネルギーの変化が大きいため検知しやすいですが、まっすぐ近づいてきたり、立ち止まった場合はエネルギーの変化が小さく検知しにくい場合があります。また、検知エリアの環境が何らかの要因で同様の変化をおこした場合は、判別できずに警報を発する場合がありますのでご了承ください。	 本機は壁面、ポールなどの固定できる場所でご使用ください。
 部屋の模様替えを行って机や書立などを移動した場合は、必ず動作確認を行ってください。	 本機は人感ライト以外の用途で使わないでください。
	 本機のライト動作はオフディレイ動作となっているため、検知時間+設定時間の間ライトが動作します。センサーが検知している間（検知時間）は設定時間に関係なくライトが動作し続けます。
	 設置の後は必ず正しく動作することを確認してください。

4 検知エリア

1. 検知エリア図

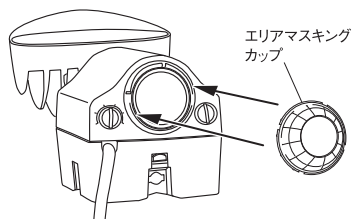


2. エリアマスキング

●検知エリアを狭くしたい場合は付属のエリアマスキングカップを使用して調整してください。

1. エリアマスキングカップの装着

エリアマスキングカップはセンサー部に被せるようにはめ込んで使用します。
はめ込みの方向性は無く、どの向きでも装着できます。



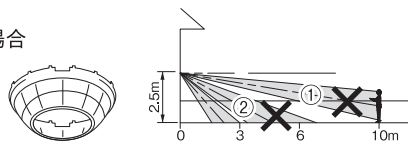
2. エリアマスキングカップの使用法

エリアマスキングカップはセンサー部に装着すると、カップと重なる検知エリアが削除されます。また、カップで削除される検知エリアを部分的に有効にしたい場合は、必要な部分をカップについているカットラインに沿ってカッターなどでカットして装着してください。

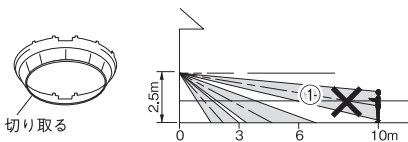
〔カット例〕

◇検知エリアを短くしたい場合

エリアマスキングカップをそのまま装着すると、検知エリア①②がカットされます。

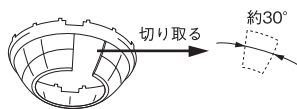


エリアマスキングカップを図のラインでカットすると、検知エリア①がカットされます。



◇検知エリアを狭くしたい場合

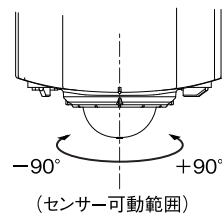
検知させたい部分のみ、カップをカットラインに沿ってカットしてください。
カップの1マスをカットすると約30°の広がり検知エリアが有効になります。



3. エリア（角度）調整

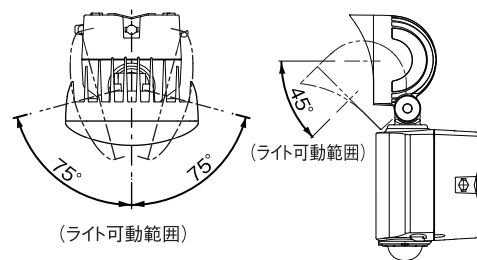
●本機は様々な設定に対応できるように、センサーおよびライトに独立した広範囲な角度調整機能を備えています。

●センサーおよびライトは下記の範囲で可動しますので必要に応じて角度調整を行ってください。

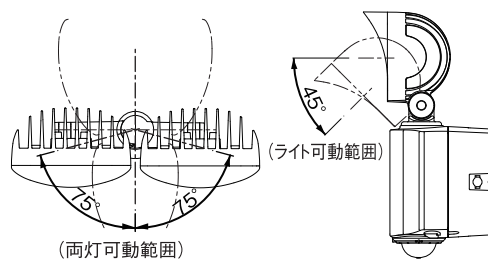


垂直方向の角度調整はできません。
設置される際は、仮設置して検知エリア高さを確認したうえで、本設置してください。

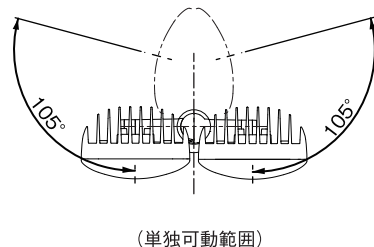
〈LCL-51S〉



〈LCL-52S〉



ライト可動範囲(水平方向)

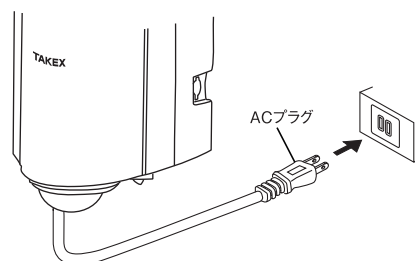


5 配線方法

電源

●本機はACプラグ接続専用ですので、ACプラグをコンセントに差し込んでご使用ください。

※屋外で設置される場合は屋外用コンセントに接続してください。



6 取付方法

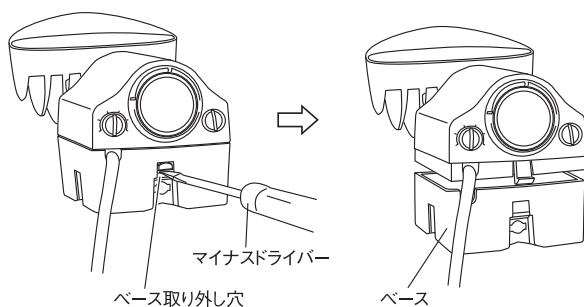
本体の取付



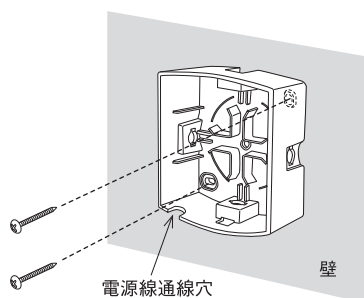
センサー部の垂直方向の角度調整はできません。
設置される際は、仮設置して検知エリア高さを確認したうえで、本設置してください。

壁付

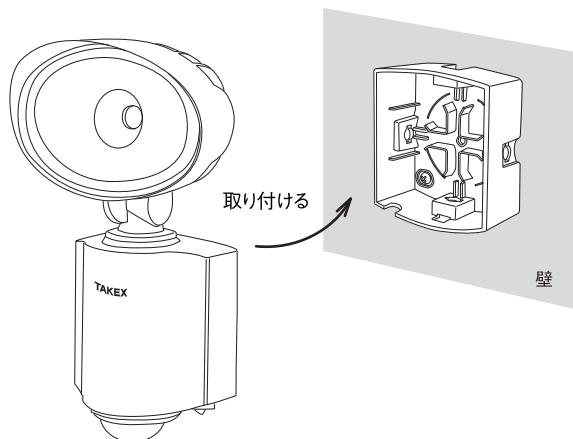
1. 本体下部のベース取り外し穴にマイナスドライバーを差し込んでベースを取り外してください。



2. ベースの取付用ネジ穴を利用し、取付面の材質に適したネジで壁に固定してください。
※木板に取り付ける場合は、付属のネジをご使用ください。
※ベースは電源線通線穴が下になるよう固定してください。

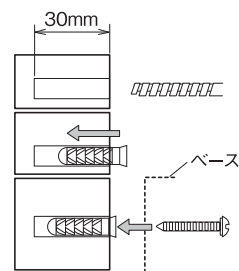


3. 壁へ固定したベースに本体を取り付けてください。



●コンクリートに直接取り付ける場合

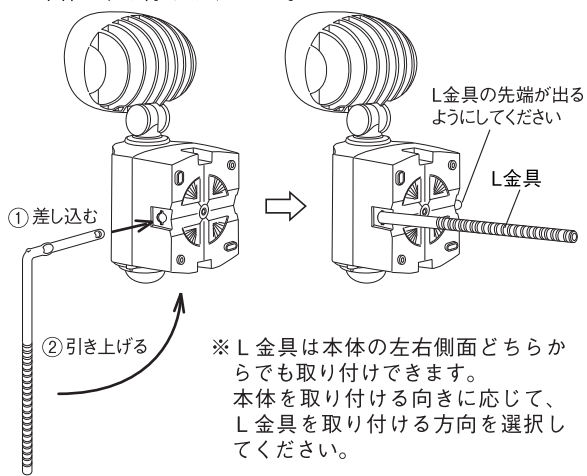
- (1) ベースの取付用ノックアウト穴位置に合うように、コンクリートにφ6mmの穴をあけてください。
- (2) 付属のアンカープラグを穴に差し込み、かなづちなどで壁の面に合うよう軽く打ち込んでください。
- (3) ベースを取り付け、付属のネジで壁に固定してください。



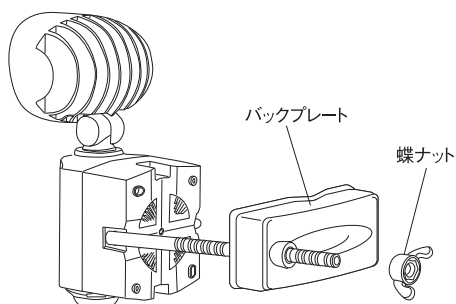
ポール、角柱への取付け

●本機をポール・角柱へ取り付けする場合は、別売のバイスBV-50が必要です。

1. バイスBV-50（別売）に付属しているL金具を図のように本体に取り付けてください。



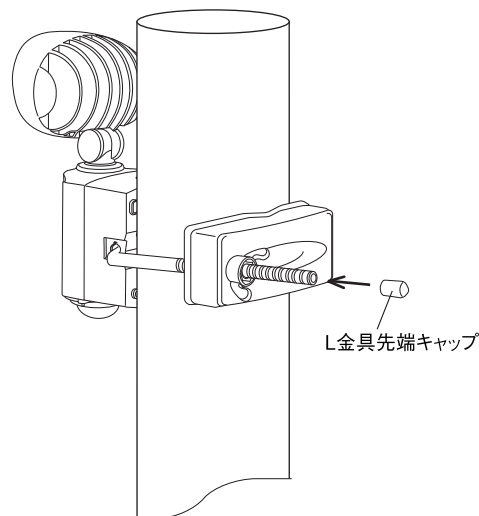
2. バイスBV-50（別売）に付属しているバックプレートでL金具に取り付け、蝶ナットを軽く締めてください。



3. ポールもしくは角柱を本体とバックプレートで挟み込み、きっちり固定されるまで蝶ナットを締め付けてください。その後、L金具先端キャップを取り付けてください。



L金具先端キャップはL金具の先端を保護するものです。けが防止のため、必ず取り付けてください。



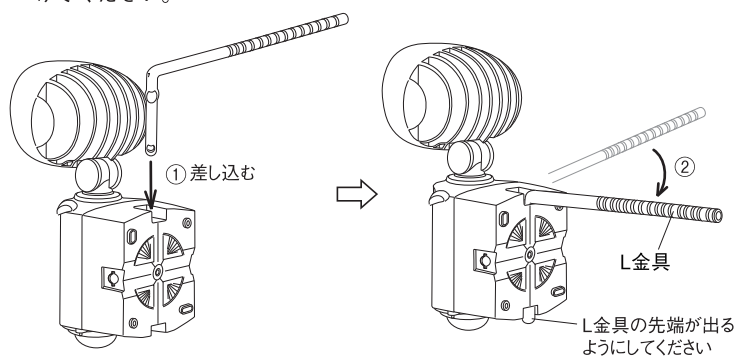
※取付可能寸法：ポールφ40mm～φ80mm
角柱 40mm～90mm

※取付面の状態により本機およびバックプレートがすべり、きっちり固定できない場合は、バイスBV-50（別売）に付属しているすべり止めゴムを接触面に貼り、その上から取り付けてください。

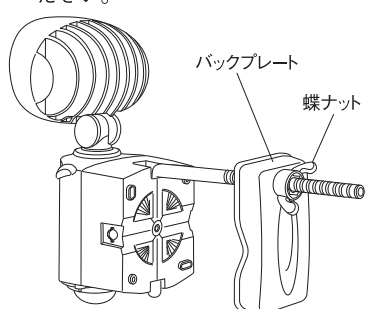
塀などへの取付け

●本機を塀などへ取り付けする場合は、別売のバースBV-50が必要です。

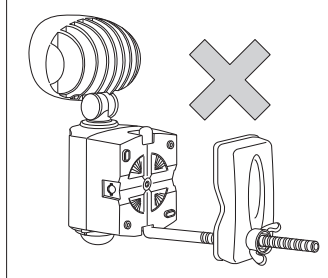
1. バースBV-50（別売）に付属しているL金具を図のように本体に取り付けてください。



2. バースBV-50（別売）に付属しているバックプレート（Back Plate）をL金具に取り付け、蝶ナット（Nut）を軽く締めてください。



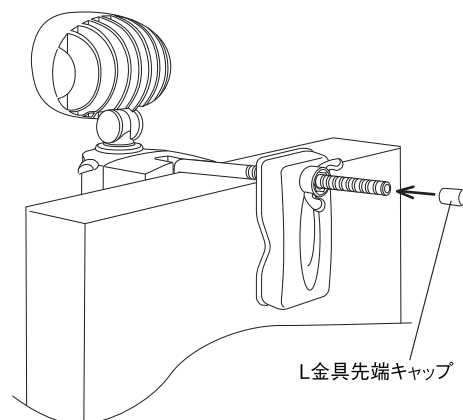
※L金具を図の方向に取り付けて使用するのはやめてください。本体が落下する恐れがあります。



3. 塀を本体とバックプレートで挟み込み、きっちり固定されるまで蝶ナットを締め付けてください。その後、L金具先端キャップ（L-bracket tip cap）を取り付けてください。



L金具先端キャップはL金具の先端を保護するものです。けが防止のため、必ず取り付けてください。

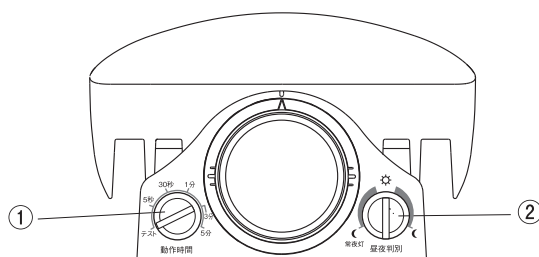


※取付可能寸法：最大90mm

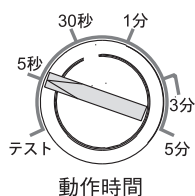
※取付面の状態により本機およびバックプレートがすべり、きっちり固定できない場合は、バースBV-50（別売）に付属しているすべり止めゴムを接触面に貼り、その上から取り付けてください。

7 設定・調整方法

本機は以下の設定、調整機能を備えています。本体下面にあるボリュームにて調整が可能です。



①動作時間調整



人を検知した際のライト点灯時間を調整する機能です。約5秒、約30秒、約1分、約3分、約5分の5段階で設定ができます。また、テストを選択すると周囲の明るさに関係なく、センサー検知時、約3秒間ライトが点灯しますので、検知エリア調整時などにご使用ください。

※ライト点灯中に人を検知した場合は点灯時間が延長されます。（オフディレイ動作）

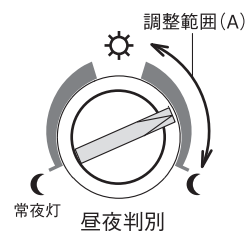
※選択時間は上記の5段階のみです。
ボリュームの目盛りと目盛りの間に合わせても上記以外の時間は設定できません。

②昼夜判別調整

本機は人を検知した際、周囲環境が設定された明るさより暗い場合、ライトが動作します。その周囲照度（明るさ）を設定する機能です。約5 Lx（夜）～∞ Lx（昼夜）の間で調整可能です。

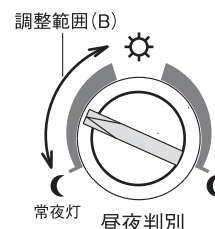
(A) 常夜灯機能を使用しない場合

センサー検知のみでライト点灯させる場合は中心より右側にボリュームを回すことでライトが点灯する周囲の明るさを調整できます。



(B) 常夜灯機能を使用する場合

本機はセンサーに関係無く、20%の明るさで点灯する常夜灯機能を有しています。常夜灯機能を使用される場合は中心より左にボリュームを回すことで常夜灯が点灯する周囲の明るさを設定できます。



8 動作確認

1. 動作チェックモードの設定・確認

調整ボリュームの位置が下記設定（出荷時設定）にあることを確認します。

動作時間調整

………… テスト

2. ライト動作テスト（検知エリア・機器動作の確認）

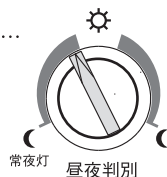
1. 電源を投入しセンサーが安定するまで約1分待ちます。
2. 検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認します。
また、ライト点灯にてエリアの位置、大きさを確認し角度などの調整を行います。

3. 常夜灯動作テスト

常夜灯に設定して常時20%点灯するかを確認します。

昼夜判別調整

…………



4. 本設定

使用目的に応じて各スイッチ、ボリュームの設定を行い、動作確認をしてください。

9 異常時の点検一覧表（正常な動作をしない場合）

以下の表にしたがって点検してください。

点検した結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

状 態	原 因	処 置
全く動作しない	①電源が入っていない（断線も含む）、電源電圧が低すぎませんか ②検知エリア前面に遮光物体がありませんか（ガラスも遮光物体となります） ③検知エリアの設定は適切ですか（検知距離も含む） ④昼夜判別調整の設定は適切ですか	①電源線をチェックして電源電圧を適正にする ②遮光物体を取り除く ③検知エリアを再調整する（ 4 参照） ④昼夜判別調整を再調整する（ 7 参照）
時々動作しない	①検知エリアの設定は適切ですか（検知距離も含む） ②昼夜判別調整の設定は適切ですか ③センサー部表面がほこりや水滴で汚れていませんか ④電源電圧が不安定になっていませんか	①検知エリアを再調整する（ 4 参照） ②昼夜判別調整を再調整する（ 7 参照） ③柔らかい乾いた布でふきとる ④電源電圧を適正にする
人が通らないのに動作する	①検知エリア内でなにか動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか ②電氣的雑音（放送局・アマチュア無線局）などの発生源が近くにありませんか ③検知エリア正面から太陽光、ヘッドライトなどの直射はありませんか ④設定した検知エリアと思われる以外の人や車を検知していませんか ⑤犬、猫などの小動物が出入りしていませんか ⑥電源を入れて約1分経過しましたか	①原因となるものを取り除く ②取付場所を変更する ③取付場所を変更する 検知エリアを再調整する（ 4 参照） ④検知エリアを再調整する（ 4 参照） ⑤小動物の出入りを防ぐ ⑥約1分間待つ（電源投入後約1分間は点灯動作を行います）

日常点検

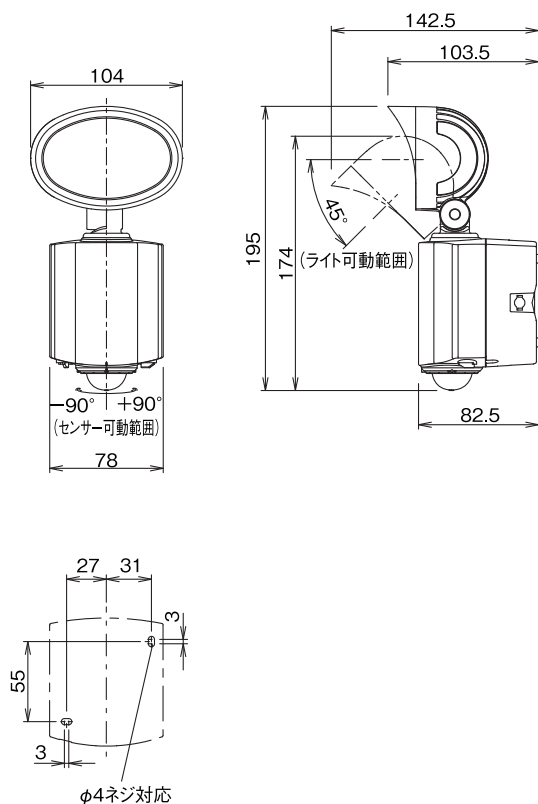
- お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふいた後、洗剤が残らないようにふき取ってください。
シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。（プラスチック部品が変形、変色、変質するおそれがあります）
- 週1回程度は定期的に動作確認をおこなってください。

10 仕様

品 名	LED人感ライト	
品 番	LCL-51S	LCL-52S
検 知 方 式	パッシブインフラレッド方式	
検 知 エ リ ア	立体型（最長部10m）	
電 源 電 圧	AC100V±10%（50/60Hz）	
消 費 電 力	14W	26W
点 灯 照 度	800 l m	800 l m × 2 灯
点灯動作時間	テスト（3秒）／5秒／30秒／1分／3分／5分（オフディレイ動作）	
昼夜判別調整	約5 lx ～ ∞ lx（昼夜判別）	
常 夜 灯 設 定	20%点灯	
配 線 方 式	電源：ACプラグ式（3m）	
使用周囲温度	-20℃～40℃	
設 置 場 所	屋外・屋内（防雨構造 IP55）	
質 量	約650 g	約850 g
外 観	ライト部：アルミダイキャスト 本体：樹脂	
オ プ シ ョ ン	バ イ ス：BV-50 天井アタッチメント：BP-50	

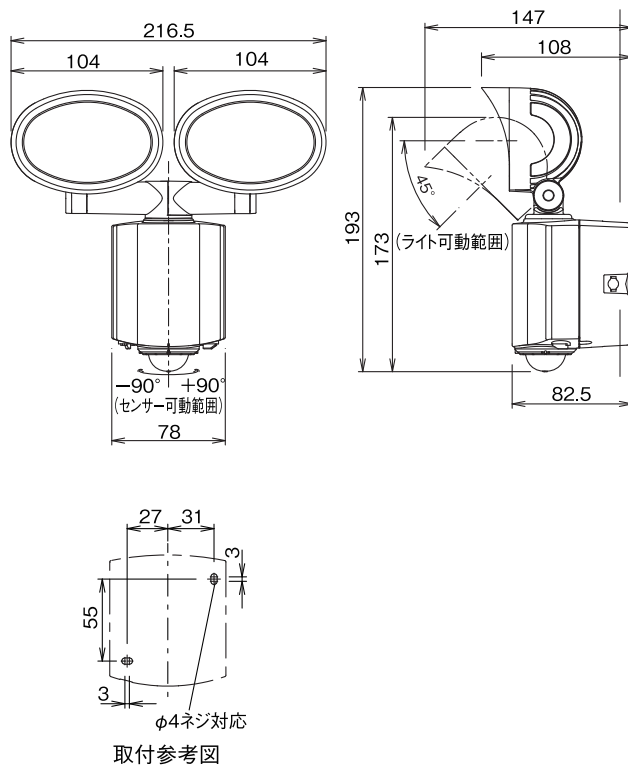
11 外形寸法図 (単位: mm)

〈LCL-51S〉



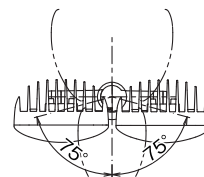
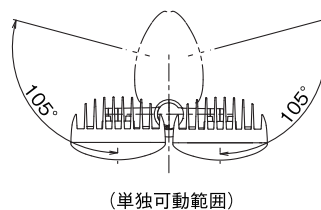
取付参考図

〈LCL-52S〉



取付参考図

ライト可動範囲(水平方向)



■免責事項について■

●弊社の商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身、ヘルスケア用途などに使用するもので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器、医療用機器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。
●本商品の取り付け、取りはずし時の事故で発生した怪我、損害については、弊社は一切の責任を負いません。
●本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
●地震・雷(誘導雷サージを含む)および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信上の損失・機会消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作(誤報・失報を含む)などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本商品に関していかなる場合も、弊社の費用負担は本商品の価格内とします。

TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社
汎用機器事業部

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL(075)594-7211(代) FAX(075)501-2085
札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島
高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.

<https://www.takex-eng.co.jp/>

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。